



## 新年度のスタートにあたって

校長 森 和 久

お子様の入学・進級おめでとうございます。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、長い休校期間からのスタートとなりました。それでも、皆さまのご協力のもと、休校中はオンライン授業の実施、分散登校等を行い、また授業再開後は、消毒、検温、密を避ける等の感染症対策を行いながら、「子どもたちの学びを止めない」努力をして参りました。年間を通して、様々な制約があり、皆さまにはご不便をおかけしたことが多々ありましたが、大きな混乱もなく教育活動を進めることができました。皆さまのご理解、ご協力に感謝申し上げます。

新年度に当たり、今年度の方針を述べさせていただきます。

まず、新型コロナウイルス対策についてです。今年度も、新型コロナウイルスの状況は、劇的に改善されることはないと思われまます。したがって、引き続き、感染症対策に留意しながら、教育活動を進めて参りたいと存じます。昨年度は、状況に応じてオンライン化したり、分散化したりするなど、多くの教育活動を形を変えて実施したわけですが、休校措置、緊急事態宣言等の状況の中、やむなく中止とした活動もありました。しかし、今年度は、できる限り学校行事等の教育活動を中止にせず、実施するようになりたいと考えております。そのためには、実施の仕方を一層工夫する必要があります。考えるべきこと、準備すべきこと、皆さまにお願いすることが増えることとは思いますが、極力実施に向けた努力をして参りますので、よろしくお願ひします。(それを許さない新たな状況が生じた場合には、できないこともありますのでご容赦ください。)

二つ目は、「個別最適な学び」「協働的な学び」「探究的な学び」のさらなる充実を図りたいということです。

本校では、自分で探究すべき課題を見つけ、それについて友達と協力し合いながら調べ、発表するような授業を永年にわたって実施してきております。そして、その成果の一端は、学習発表会や総合的な学習の時間、英語プレゼンテーション等々に表れているところですが、本校の児童は、粘り強く探究し、友達と話し合い、試行錯誤し、ICTを上手に活用し、そしてよいプレゼンテーションをすることができると思います。そして、自ら課題を見つけて解決していく経験を積んだことは、今後の学びや社会での生き方につながっていくと考えております。

こうした本校の学習のよさをさらに拡充するための教育方法、カリキュラム・マネジメントについて職員で協働的に研究し、授業づくりに生かして参りたいと考えております。具体的には、総合的な学習の時間や教科の学習の中で、一人一人の興味関心に応じるとともに、簡単に結論がでないより息の長い課題、現実の世の中に直結する課題に取り組むためのカリキュラムの構築、附属小学校である強みを生かし、子どもが大学の先生の指導を受けるような場面の設定などを行っていきたく考えます。この取り組み自体も息の長い取り組みになろうかと思いますが、お子様の具体的な姿として表れるよう努めて参りたいと存じます。

最後になりましたが、本年度も本校教育にご支援、ご協力を賜りますことをお願い申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

